キャラクター名	プレイヤー名
折楠　木槿(おりくす　むくげ)	

シンドローム	ノイマン	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
	エグザイル				
オプショナル	モルフェウス	年齢	16	性別	男
覚醒	命令	衝動	嫌悪	初期侵食率	30 %
出自	名家の生まれ	経験	永劫の別れ	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	1	1	0			2
精神	3	0	0			3
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
情報収集チーム	
想い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
錬金術師	P	N		
折楠　桔梗　(兄)	P　憧憬	N 疎外感		
東雲　琴子　(同僚)	P　慕情	N　悔悟		
雪印　レン	P　誠意	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アーマークリエイト	1	4	マイナー					
効果：装甲値[Lv*2+5]の防具を作成								
シールドクリエイト	4	5	マイナー					
効果：ガード[Lv*2+4]の武器を作成								
ダブルクリエイト	1	3	マイナー					
効果：《シールドクリエイト》を二つ作成								
八重垣	1	3	オート					
効果：ガード時に宣言　2つ分の武器のガード値を適用								
崩れずの群れ	1	2	オート					
効果：カバーリングを行う。行動済みにならない。								
命のカーテン	2	4	オート					
効果：10m離れた対象にカバーリング　シナリオLv回								
守護者の巨壁	1	6	オート				ﾘﾐｯﾄ	
効果：敵の攻撃対象を自分単体に変更する　シナリオ1回								
アドバイス	4	4	メジャー					
効果：次のメジャーアクションのD+[Lv]、C-1								
戦場の魔術師	1	3	メジャー				ﾘﾐｯﾄ	
効果：《アドバイス》の対象を3体に拡大　シナリオ[Lv+1]回								
デモンズウェブ	3	2	オート				80%	
効果：HPダメージー[Lv+1]D　R1回								
暗号解読	★							
効果：昔から、役に立つようにって色々させられたしね								
文書偽造	★							
効果：バレた時に切り捨てやすい、トカゲの尻尾にピッタリの仕事だよね								
効果：								

UGN日本支部に所属する、何の変哲もないUGNエージェント。
実家がちょっと名家だったり、戦闘方法に似合わず行動適正が文官よりだったりするだけの、何の変哲もないエージェント。
性格は少し大人しく、自虐的かつシニカルで、行動が半歩遅れて結局周囲に振り回されるタイプ。
ついでに周りに乗せられると簡単に熱くなる。チョロいというか、ザコというか……

日本支部で、彼の主だった使い方は『監察官』。
派遣という名目で当該支部に潜り込んでは、その実情を探る。情報漏洩や秘匿事項が無いかの抜き打ちチェック。
当然、彼がそういう存在だということは周囲には知らされぬまま、最後の最後に嫌われ者として支部を去るのが彼の日常なのだ。
……もっとも、内部文書の偽造に特化した能力から、本部が腰を上げて捜査する『火種』扱いされることも多いのだが。

戦闘スタイルは、鎧と盾で身を固めて周囲を守る防御型。
また、戦闘中に猶予が有れば戦局を判断して簡単な指示もこなす、所謂軍師タイプ。
戦闘中、自分が守れる範囲の人間が傷つくことを嫌うタイプ。勿論、自分が守れない範囲であれば諦めもつくが、必死に言い聞かせているだけ。
自分の手の届く範囲とは？守れる場所とは？　その答えは難しく、目を逸らしたまま。

————どうでもいい設定————

明治～大正期に成りあがった名家の、その分家の生まれ。
元は地方の豪商からの、金銭を使って華族の地位を買った成り上がり名家であるため、家自体にコンプレックスが染みついている。
木槿はそのコンプレックス塗れの端っこ分家の三男坊。
事あるごとに優秀な兄と比較され、その力は全て使い捨て用に特化されて育成された。